番号	質問対象調査	設問番号	ご意見	対応方針
1	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査	表紙	調査対象者が65歳以上となっていますが、年齢・性別によって違いがあるように 思いました。	年齢や性別等の属性は、対象者抽出の際に、市で把握しているため、分析の際に活用する予定です。また、サンプル抽出の際に、年齢や圏域に偏りがないような抽出を行う予定です。
2	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査	問2 (1)~(3)	選択回答の1 "できるし、している"の表現に違和感がある。問4-2〜6も同 様	この部分については、国の調査票に基づくため、現在のままとさせていただ きます。
3	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査	問2(10)	選択肢の4は、(介護予防のために)何をしたら良いか分からないから、という選択肢にした方が良いのかな、と思いました。介護予防のイベントなどを行うことによって、この選択肢を選んだような人の取り組みを促すことができるのではないかと考えます。	「介護予防しても面白くないから」を削除するのではなく、「何をすれば良 いかわからないから」の選択肢を追加することで対応いたします。
4	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査		体力測定会ですが、「参加したいが、測定場所までは行けない」と言う声を多く聞いています。高齢者の近くで測定会を開催することによって参加はどうかも問うてほしい。	今回、回答者がどの地区に居住しているかを把握できるようにしていますので、参加できない回答が多い場所の分析も可能となっているため、設問を追加するのではなく、分析の中で検討してまいります。
5	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査	問4 (2)~(6)	選択回答の1 "できるし、している"の表現に違和感がある。	この部分については、国の調査票に基づくため、現在のままとさせていただ きます。
6	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査	問4- (7)	要望というよりは質問なのですが、資料2-②-(1)の備考欄には、具体的な施設を選択できるようになったと記載されているのですが、選択肢を見ると、居場所の有無しか回答できないようになっているので、修正が必要かと思います。	備考欄の記載が検討中のものであり、設問に反映しない内容を記載しておりました。申し訳ありません。 設問は、前回のまま修正なしとさせていただきます。
7	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査		グループや会に属さない活動をする方も多くなっています。「以下のような会・グループ・ <u>活動</u> などに・・・」に変更	本問については、国の調査項目であるため、質問分は変更せず、回答項目に 「⑪個人や小さな集団での活動」を新設することで対応いたします。
8	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査	問5(1)	「①ボランティアグループ」となっていますが、上記理由から「①ボランティア活動」	本問については、国の調査項目であるため、現在のままとします。
9	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査	問5(1)	⑤介護予防のための通いの場⇒⑤自宅近く(地区センターなど)で行う体操の場 「通いの場」という表現は専門職が使う言葉のため、変更されたほうが良いかと思 われます	厚生労働省の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」では、 「介護予防のための通いの場に固有名称があればその名称を用いる」とあ り、「通いの場」の表記されています。日野市には、総称としての「通いの 場」の名称はないため、厚生労働省の表記を用いることとします。
10	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査	問5(1)	上記理由から設問を「上記グループ活動等」へ変更	ご意見の通り質問文を修正いたします。
11	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査		シルバーパスを10月以降割引になったら購入すると言う声を聞きます。「割引になったら購入しますか?」も入れたら、より正確に把握できると思いました。	調査の実施は11月であるため、割引実施後になります。そのため、本問で「持っている」と回答した方は全員割引後の価格で購入しており、割引になった場合の設問は不要となります。
12	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査	問8(3)	「この1か月・・・」と区切られると、波のある高齢者が多いので、「最近・・・」にしてはどうですか?「この1か月・・・」が重要であれば、そのままでも結構です。	本設問は、国の設定項目になっているため、「この1か月」の表現とさせて いただきます。
13	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査	問8(4)	同上	本設問は、国の設定項目になっているため、「この1か月」の表現とさせて いただきます。
14	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査	問8(8)	最初の問いに「補聴器を必要としていますか」1はい 2いいえ があった方が良いと思います。「はい」と回答した方に8-8の質問8-9の質問にする。 8-8で「持っていない」と回答した人が問題。市の助成制度があることも知らずに、補聴器は高額で買えないと思っている高齢者がいる。	問8(8)、問8(9)を組み合わせれば「必要なのに持っていない」人は明確になるため、今のままとしたいと考えます。 設問数をできるだけ増やさず、ニーズ等の把握が可能となるように分析できるよう努めてまいります。

番号	質問対象調査	設問番号	ご意見	対応方針
15	(1)介護予防日常生活圏域 ニーズ調査	問8(10)、(11)	O視力の程度、受診状況の確認有無、疾患(白内障、緑内障等)、適切に調整された眼鏡有無の項目 要介護認定に至る原因第3位が転倒。 参考:2022(令和4)年 国民生活基礎調査の概況 https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/index.html 転倒の原因は複合的であるが、加齢による内的要因のうち視力低下の要因は大きい。パランス制御には筋力に加えて視覚情報が深く関わっているためである。 参考:Vol.36 Suppl. No.2 (第44回日本理学療法学術大会 抄録集) 視覚機能がパランス能力に及ぼす影響について https://www.jstage.jst.go.jp/article/cjpt/2008/0/2008_0_A3P1 167/_article/-char/ja/ 介護予防の観点で、介護認定を受ける前から視覚に関する課題を抽出して解決案を提案できれば、転倒予防につながると思われる。また介護認定を受けている方は、外出が困難になり、さらに優先度も低くなることから、適切な眼鏡を作ることも難しくなっていると感る。重度化の要因としても転倒は多く予防のために視力の程度は重要である。	ご指摘の部分、そのまま入れると多くの設問になるため、2問に絞ることを提案します。 問8-10 あなたは眼の病気等はありますか。 1. 白内障 2. 緑内障 3. 加齢黄斑変性症 4. その他() 5. なし 問8-11 あなたのめがねやコンタクトレンズは適切に調整されていますか。 1. 適切に調整されている 2. やや見えにくくなっている 3. 非常に使いづらい 4. めがねやコンタクトレンズは使っていない(なくても問題ない) 5. めがねやコンタクトレンズは使っていない(間題が生じている) 6. その他()
16	(2)在宅介護実態調査	調査票A 問6 (1)~(2)	介護保険のサービスの種類に訪問介護が2回あり、訪問看護がない	ご指摘の通り、訪問介護が重複しているため、選択肢4つ目の訪問介護を訪 問看護に訂正します。
17	(2)在宅介護実態調査	調査票A 問8	1 配食 は専門職が使う言葉のため「食事の宅配サービス」のほうが伝わると思われます	指摘の通りの修正します。
18	(2)在宅介護実態調査	調査票A 問9	上記理由から 配食を「食事の宅配サービス」に変更	指摘の通りの修正します。
19	(2)在宅介護実態調査	調査票A 問14	最初に「補聴器を必要としていますか?」 1はい 2いいえ を入れてから14. 15の問いに進んだ方が良いと思う。	問14、問15を組み合わせれば「必要なのに持っていない」人は明確になるため、今のままとしたいと考えます。 設問数をできるだけ増やさず、ニーズ等の把握が可能となるように分析できるよう努めてまいります。
20	(2)在宅介護実態調査	調査票A 問15	同上	同上
21	(2)在宅介護実態調査	調査票A 問17	設問の文章に"ご自身で最期まで生活し"→"ご自宅で"ではないか?	ご指摘の通り修正いたします。